

山形県立中央病院で診療を受けられた皆様へ

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用、または、提供されることを希望されない場合は、下記の問合せ先にお問合せください。

研究課題名	熱中症患者の医学情報等の即日登録による疫学調査（2019） 1, 日本救急医学会熱中症に関する委員会による熱中症の実態調査（Heatstroke STUDY 2019） 2, 熱中症患者の医学情報等の即日登録による疫学調査（Heatstroke Fax2019 : HsF2019）
該当者	1.熱中症と診断され入院された方 2.1に加え、熱中症と診断され帰宅された外国人旅行者または身体障害者の方
当院の研究責任者	救急科 森野一真
研究代表者	清水敬樹（帝京大学医学部救命救急センター）
本研究の目的	本邦における重症熱中症の実態の解明は進まず、日本救急医学会熱中症に関する委員会は2006年から熱中症の実態に関する全国調査を継続している。その原因や病態解明および治療や予後の実情を把握し、発生の予防に向けた地域医療へのアプローチを検討する。
実施予定期間	2019年7月1日から9月30日
研究の方法	帝京大学医学部附属病院高度救命救急センター、日本救急医学会熱中症に関する委員会、日本救急医学会指導医指定施設、救命救急センター、大学病院ならびに市中の救急部の中で研究への協力が得られた救急医療施設において熱中症と診断された全ての入院患者を対象とすし、実施する。 患者の診療録から年齢、性別、来院方法、発生状況、現場でのバイタルサイン、既往歴、生活歴、来院時の所見（身体所見・検査所見など）、発生原因、治療法および転帰に関する情報情報を「熱中症に関する全国調査にある調査項目」に入力する。調査期間終了後に研究の主管となる日本救急医学会熱中症に関する委員会において集計する。日本救急医学会の規定に基づき、承認を得られた機関において解析を行い、発生予防を含めた対策について検討を行う。
研究に用いる試料・情報の種類	カルテに記載された診療に関する情報、検査結果など。但し、個人が特定できる情報は含まれない。
外部への試料・情報の提供・公表	所定の報告様式をFAXまたはセキュアされたウェブページにて提供。 研究結果を日本救急医学会「熱中症に関する委員会による熱中症の実態調査」（Heatstroke STUDY 2019）にて公表。
個人情報の取扱い	個人が特定できる情報は扱わない。
利益相反	開示すべき利益相反関係にある企業、団体はない。
お問合せ先	救急科 森野一真 023-685-2626